

尾道の観光情報を発信する会報誌

おのまが

Vol.2
2015.8



JAPAN HERITAGE

どこか迷路に迷い込んだかのような路地、お寺や神社と共存する人々の生活、額に汗を浮かべながら上る坂道ガタンゴトンと通り過ぎていく列車の音、懐かしさとゆっくりとした時間が流れる尾道だからこそ選ばれた。



浄土寺山の不動岩から見る風景

Contents もくじ

2

特集

祝

日本遺産認定!! ところで日本遺産ってなに？

4 ONOMAGA TIMES

6 事業紹介 ビジットジャパン事業

「尾道で見つけた“ずっと見たかったジャパン”」 アナイス・カブレさん

8 INFORMATION／行事予定表

祝 日本遺産認定!! ところで日本遺産ってなに？



《尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市》

【ストーリーの概要】

尾道三山と対岸の島に囲まれた尾道は、町の中を通る「海の川」とも言うべき尾道水道の恵みによって、中世の開港以来、瀬戸内随一の良港として繁栄し、人・もの・財が集積した。

その結果、尾道三山と尾道水道の間の限られた生活空間に多くの寺社や庭園、住宅が造られ、それらを結ぶ入り組んだ路地・坂道とともに中世から近代の趣を今に残す箱庭的都市が生まれ出された。

迷路に迷い込んだかのような路地や、坂道を抜けた先に突如として広がる風景は、限られた空間ながら実に様々な顔を見せ、今も昔も多くの人を惹きつけてやまない。

春の天寧寺三重塔とその一帯の風景

文化庁は今年4月、尾道市をはじめ全国で18件を平成27年度の日本遺産（Japan Heritage）として認定しました。初年度の今年は全国から83件の申請があり、広島県内では尾道市の『尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市』が県内初の日本遺産となりました。これからどのような効果が見られるのか期待が高まります。

そもそも日本遺産ってなに？

日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化や伝統を伝えるストーリーと、それを象徴する文化財群を認定するものです。日本のみならず海外にも戦略的に発信し、観光などで地域活性化を目的に新設された制度のことです。

東京オリンピックが開催される2020年までに100件程度が認定される予定です。

日本遺産と世界遺産の違いは？

世界遺産には3つの種類があり、有形の不動産が対象です。人類共通の大切な宝を守り、後世に伝えることが目的です。

一方で日本遺産は、地域に点在する遺産をつなぎ合わせたストーリーを認定したものです。形ではなく文化財を物語りとして発信しています。

点と点をつなぎ合わせて“面”で発信

尾道市にはたくさんの文化財とそれにまつわる物語が点在します。日本遺産は、こうした「点」として指定されていた文化財をストーリー立てして関連付け、遺産を「面」として活用し、発信することで地域活性化を図ります。これにより地域の魅力をより強くブランド化することができます。

今後の効果は？

日本遺産に認定されたことで、尾道市の認知度が高まるとともに、国内だけでなく、海外の観光客に向けたPRにも活用できます。

なによりも、私たちの尾道に対する誇りや愛着を再認識するきっかけとなりました。引き続き魅力的なまちづくり、おもてなしを心掛けていきましょう！



尾道の “箱庭的風景” を探してみました！



千光寺、岩屋山、浄土寺山から尾道の箱庭的風景を撮影してきました。

見る場所によって尾道市街地の姿も少し違います。



▲浄土寺山から撮影。尾道水道、線路、山。まさに“箱庭”といった印象を受けます。



▲岩屋山から撮影。尾道水道が大きく写り、「海の川」という印象が強く残ります。

▶しまなみ海道新尾道大橋塔頂から撮影。左から向島、尾道水道、尾道市街地と続いています。



▲千光寺から撮影。ガタンゴトンと電車の音が聞こえてくるような気がします。



平成 27 年度「日本遺産(Japan Heritage)」認定一覧

No	都道府県	申請者（◎は代表自治体）	ストーリーのタイトル
1	茨城県・栃木県 岡山県・大分県	◎水戸市（茨城県）・足利市（栃木県）・備前市（岡山県）・日田市（大分県）	近世日本の教育遺産群 一学ぶ心・礼節の本源一
2	群馬県	◎群馬県（桐生市、甘楽町、中之条町、片品村）	かかあ天下ーぐんまの絹物語ー
3	富山県	高岡市	加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡ー人、技、心ー
4	石川県	◎石川県（七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町）	灯（あかり）舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～
5	福井県	◎福井県（小浜市、若狭町）	海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群 ～御食国（みけつくに）若狭と鯖街道～
6	岐阜県	岐阜市	「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜
7	三重県	明和町	祈る皇女斎王のみやこ 斎宮
8	滋賀県	◎滋賀県（大津市、彦根市、近江八幡市、高島市、東近江市、米原市）	琵琶湖とその水辺景観一祈りと暮らしの水遺産
9	京都府	◎京都府（宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、宇治田原町、和束町、南山城村）	日本茶 800 年の歴史散歩
10	兵庫県	篠山市	丹波篠山 デカンショ 節 ー民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶
11	奈良県	◎明日香村・橿原市・高取町	「日本国創成のときー飛鳥を翔（かけ）た女性たちー」
12	鳥取県	三朝町	六根清浄と六感治癒の地 ～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～
13	島根県	津和野町	津和野今昔～百景図を歩く～
14	広島県	尾道市	尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市
15	愛媛県・高知県 徳島県・香川県	◎愛媛県・高知県・徳島県・香川県（各県内 57 市町村）	「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～
16	福岡県	太宰府市	古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～
17	長崎県	◎長崎県（対馬市、壱岐市、五島市、新上五島町）	国境の島 壱岐・対馬 ～古代からの架け橋～
18	熊本県	◎人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村	相良 700 年が生んだ保守と進取の文化 ～日本でもっとも豊かな隠れ里ー 人吉球磨～

しまなみ・中国やまなみ沿線観光協会連絡協議会発足

今年 3 月 22 日に全線開通した中国やまなみ街道。全線開通により尾道は、しまなみ海道、中国やまなみ街道、山陽自動車道の基点となることもあり、これから訪れる観光客の動向にも変化が見られると考えられます。

全線開通後はじめての花見シーズンとGWは例年にも増して多くの観光客で賑わいました。とくに山陰から乗用車や観光バスでお越しになる団体が増えたように見られます。

尾道観光協会は、しまなみ海道および中国やまな

み街道沿線の観光協会と連携し、沿線地域の活性化や地域が一体的に実施する観光振興を中心とした事業を推進する「しまなみ・中国やまなみ沿線観光協会連絡協議会」を発足しました。

これに合わせて、しまなみ海道、中国やまなみ街道沿線のガイド本「しまなみスタンプまっぷ」を10万部発行。各地域の観光施設や観光案内所などで配布しています。

今後も沿線の観光協会との連携を深め、広い地域で一体となって観光促進を進めていく予定です。



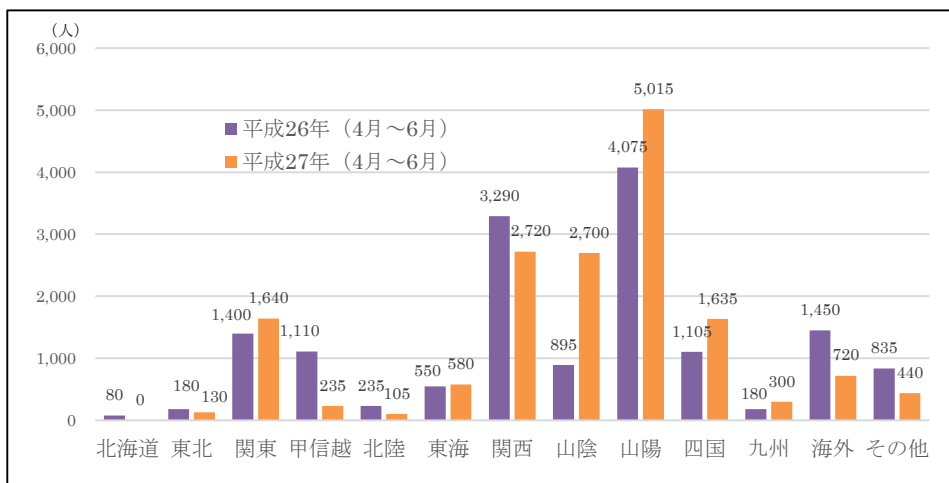
『しゃまなみスタンプまっぷ』の表紙
(左)と尾道ページ(右)。

『しゃまなみ』とは、しまなみ海道の『し』と中国やまなみ街道の『や』を掛け合わせたもの。

「島×山×菓子」と題して、各地のスイーツを特集したページやそれぞれの地域の観光名所や施設を18ページにわたって紹介している。

尾道ページでは、しまなみ海道サイクリング尾道水道クルーズといったレジャースポットや生口島のレモンを使用した「レモン鍋」、サイクリングの拠点となるONOMICHI U2、4月にリニューアルオープンした道の駅「クロスロードみつぎ」を掲載。

長江口観光バス駐車場 地域別利用者数推移グラフ



大型バス 1 台 40 人 マイクロバス 1 台 25 人で計算

中国やまなみ街道全線開通に伴い、長江口観光バス駐車場の利用者数にも変化が見られています。

昨年 4 月～6 月の間の利用者数は全体で 15,385 人。これに対し今年の同時期は 16,220 人と増加しています。とくに山陰からの利用者数が大幅に増加しています。

今後も秋の行楽シーズンや9月の大型連休にかけて観光客の動向が気になります。

「Visit Japan Asia Travel Mart 2015」 出展

6 月中旬に行われた「Visit Japan Asia Travel Mart 2015」におのなび旅行社として出展しました。Visit Japan への出展は 4 度目。今回は千葉県千葉市の幕張メッセ会場と広島市のグランドプリンスホテル広島の 2 会場に出展。中国、韓国、台湾、香港などアジア 10 の国、計 27 件の商談を行いました。

尾道の認知度は少しずつ上がっていますが、中国地方全体の認知度はまだまだ低い。外国人観光客は広いエリアで観光を考えていることを再認識しました。



▲幕張メッセで行われた商談の様子

トワイライトエクスプレス瑞風 尾道駅で停車決定

2017 年春に運行開始する豪華寝台・観光列車、トワイライトエクスプレス瑞風（TWILIGHT EXPRESS 瑞風）。その「立ち寄り観光地」として尾道駅が選ばれました。

1 泊 2 日の片道タイプと 2 泊 3 日の周遊タイプが用意されており、1 日 1 回立ち寄り観光を実施する。尾道駅は片道タイプ（1 泊 2 日）の山陽コース（上り）で立ち寄ります。

尾道の街並みを走る姿を想像すると今から楽しみです。



▲トワイライトエクスプレス瑞風の車両全体像

日本遺産認定証交付式が行われました

6 月 29 日、東京国立博物館平成館で日本遺産認定証交付式が行われました。交付式には今回認定された 18 団体の代表者が出席。尾道からは平谷市長が式へ臨みました。

式では下村文部科学大臣から各団体へ認定証が交付され、記念撮影を行いました。また、日本遺産の選定委員らによるパネルディスカッションも開

催され、その魅力や可能性、日本遺産の認定をこれからいかに活用していくのかなど意見が交わされました。

そのほか、認定団体がそれぞれ PR ブースを出展。認定ストーリーや地域の魅力ある観光資源等を紹介し、参加者とともに喜びを分かち合いました。



▲認定を受けた 18 団体の記念撮影



▲左が平谷市長、右が下村文部科学大臣

尾道で見つけた。
“ずっと見たかった”
ジャパン”

アナイス・カブレ
さん

(22 歳)



▲「この先車は通り抜けできません」と書いてある石の標識。車が通れないことをわざわざ文章で丁寧に書いてあることが面白かったそうです。(アナイスさん撮影)

▶ 第72回尾道みなと祭でスタンプラリーのくじ引き会場を手伝う様子。はっぴ姿も似合います。



▶ 尾道に来たばかりの頃に通った路地。イメージしていたよりも坂道が多く、迷子になることが多かったとか。
(アナイスさん撮影)



新 聞やテレビで「インターンシップ」という言葉をよく目にする。学生が一定期間企業などで研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行える制度のことである。自分のやりたいと思う仕事はどんなことをするのか。自分の本当にしたい仕事とは何なのか。ある種の“自分探し”なのかもしれない。

このインターンシップをするために、海を渡り尾道までやってきたフランス人がある。パリの大学に通う大学院生、アナイス・カブレさんだ。

観光協会のホームページ「おのなび」のフランス語サイトの開設や東京で開かれた「Visit Japan Asia Travel Mart 2015」で通訳として参加するなど、尾道の観光について学ぶ。語学が堪能でこちらが尾道弁で話しかけても流暢な日本語で返してくれる。ツッコミを入れる際には“大阪直伝”の関西弁を披露する。

初 めて日本を訪れたのは2年前の夏。関西大学で一年間の留学を経験した。

「もともと日本に興味を持っていた。日本酒やラーメンなどフランスでも日本人気が高まっていたこともあり、ワクワクとした気持ちでいっぱいだった」と笑顔で話すアナイスさん。初めて行った“日本”。そこは活気と熱気に溢れ、にぎやかで、発展した先進国という印象が強く残ったという。

帰国後、久しぶりに会う家族や友人と過ごすなかで、日本へ行く前とは違う新しい気持ちが芽生えた。“日本語が恋しい”。そんなとき、雑誌の片隅でたまに見つけたボランティア募集の記事。これが尾道との出会いのきっかけだった。

昨 年10月、広島県がパリで開いた「広島フェア」で尾道ブースの通訳を担当した。そこで紹介された尾道に心を奪われた。迷路に迷い込んだかの

ような路地や坂道を抜けた先に広がる風景。穏やかでキラキラと輝く尾道水道とそこを行き交う渡船。お寺や神社と隣接する民家と、それと共存する人たちの生活。はじめて見る尾道の街並みや風景の写真は、彼女の気持ちをインターンシップへと突き動かした。

「商 店街や路地、坂道や展望台をはじめて歩いたとき、“新しい日本に出会った”と思った」と目を輝かせるアナイスさん。それは、初めて日本で生活した大阪とは違う“ずっと見たかったジャパン”だった。

「尾道は昔から変わらない日本の風景が数多く残っている。その中で生活している人たちの姿そのものが観光の一部だと思う」と笑顔で話す。

路地や坂道に漂う生活感や店先で立ち話をする人々。「どこから来たの?」「日本語は話せる?」「これがおすすめだよ」と親しく話しかけてくれる店員さん。“観る”ことが観光だと思っていた。しかし、尾道はそこで生活する人々とのふれあいや親しみやすさも観光なのだと実感したという。

「外 国人観光客は日本人の“おもてなし”も期待していると思う。尾道の良いところは歴史や文化とおもてなしをダイレクトに感じられるところ」と熱っぽく語るアナイスさん。その姿はすっかり自分のやりたいことを見つけたように思えた。

ア ナイスさんのインターンシップは7月で終り、無事フランスへ帰国した。今年10月にフランスで開かれる「広島フェア」に通訳として、また参加する。昨年とは違い“尾道人”として、きっと日本とフランスをつなぐ架け橋となるだろう。

各地で開かれるイベントに出店しています

尾道観光協会は尾道市内だけでなく、各地で開かれるイベントに出店しPR活動を行っています。今年1月に広島三越で開催された「カキかに合戦 in 広島三越」や2月に松江で開かれた「まつえ暖談食フェスタ」では、瀬戸田のレモンケーキを販売。瀬戸田の観光パンフレットも配布し、レモンの島をアピールしました。



◀ 広島三越で開催された「カキかに合戦 in 広島三越」の様子。

おのな美展～おのなびフォトゼミ写真展のご案内

尾道観光協会ホームページ「おのなび」から生まれた写真ゼミ「おのなびフォトゼミ」。このメンバーたちが1年をかけ撮影した尾道の写真作品を展示。期間中には講師による写真ワークショップも開催します。

【場所】尾道市立大学サテライトスタジオ（尾道本通り商店街内）

【期間】2015年9月18日（金）～24日（木）

【時間】10：00～17：00 ※最終日は16：00まで

【料金】入場無料

※写真ワークショップ19日（土）13：00～

モニターツアーに参加しませんか

モニターツアーとは、その名の通り「お試し」のツアーのことです。旅行商品を作成する上で、改善点やお客様の反応を見るために実施しています。料金も割安の上に誰よりも先にツアーを体験することができます。

尾道観光協会の旅行会社「おのなび旅行社」では、モニターツアーの募集を行っています。観光客以外の方も参加可能です。自分たちが住む地域の魅力は何なのか、実際に体験してみたいでしょうか。

※随時募集はしておりません。当協会のホームページ「おのなび」内のツアー情報でご確認いただくか直接お問い合わせください。



▲7月に行ったモニターツアー「お坊さんと巡る尾道七佛めぐり」の様子。

今後の主な行事予定

※開催日は変更になる場合があります。

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| 8月 2日（日）因島水軍まつり[島まつり]（因島水軍城ほか） | 10月 12日（月・祝）因島水軍ヨットレース（因島三庄町 小用棧橋沖） |
| 15日（土）法楽踊り（因島棕浦町） | 17日（土）～18日（日）餅つき神事（山波良神社） |
| 16日（日）瀬戸田町夏まつり（瀬戸田町垂水） | 17日（土）～18日（日）土生町秋祭り、大山神社例大祭（大山神社） |
| 22日（土）灯籠流し（瀬戸田港周辺） | 18日（日）木ノ庄鉦太鼓踊り |
| 29日（土）因島水軍まつり[火まつり]（因島アメニティ公園） | （市立木ノ庄東小学校、木ノ庄幣高八幡神社） |
| 30日（日）因島水軍まつり[海まつり]（因島アメニティ公園） | 24日（土）～11月 15日（日）尾道菊花展（千光寺公園） |
| 9月 18日（金）～24日（木）おのな美展～おのなびフォトゼミ写真展 | 24日（土）、25日（日）第18回おのみち手しごと市（宝土寺） |
| （尾道市立大学サテライトスタジオ） | 24日（土）、25日（日）グルメサミット in 尾道（尾道駅前港湾緑地） |
| 26日（土）、27日（日）第4回全国仮装大会 in おのみち2015 | 24日（土）、25日（日）第4回瀬戸内しまなみ海道サイクリング尾道大会 |
| （尾道市公会堂ほか） | （しまなみ海道） |
| 10月 1日（木）～11月 3日（火・祝） | 25日（日）円鍔勝三生誕110年記念演劇公演（円鍔勝三彫刻美術館） |
| 第28回グルメ・海の印象派-おのみち-おのみち味めぐり | 11月 1日（日）にこぴんしゃん祭り（向島運動公園） |
| （市内参加店舗） | 1日（日）星空のファンタジア 八雲と賢治の出会い（平山郁夫美術館） |
| 2日（金）～4日（日）第15回瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ | 1日（日）～3日（火・祝）尾道ベッチャー祭り（一宮神社ほか） |
| （しまなみ海道） | 1日（日）～10日（火）【予定】第40回小林和作忌協賛街頭展 |
| 10日（土）第12回尾道灯りまつり（尾道市街地一円） | （尾道本通り商店街） |
| 11日（日）浦崎住吉神社奉納神楽（浦崎全体） | 3日（火・祝）茶筌供養法要並びに供茶式（耕三寺博物館） |